

道路の向かいの工
場地帯 広場で出
会った女子と次の
日の夕方まで・・・

平日の街中、昼間、

天気は良く駅周辺は忙しい。

少しのどかな住宅地辺りまで来ても道行く人はどちらかと言えば忙しない表情に見える。

まだ寒い冬の終わり。朝方は空も真っ白だったが、東から上って来た太陽で比較的暖かい。

仕事の合間にずっとランニングをしな

がら、

スポーツシューズと黒のウェア、途中でストレッチ。毎日の習慣にしている。

隣街の工場地帯は山の辺りまで広がっており近くの高台から見える。

引っ越してきたばかりであまり詳しくは知らないのだが・・・近くの紳士服屋がある地区の方まで走ってみた。

古本屋の横に小さな売店、途中で立ち寄る。

古い街並みも残っていて、少し雑誌を読んだ後に歩道を歩き、

向かいに工場がある広場へ立ち寄った。

砂場や鉄棒などがある。

オフィス街の一角で事務仕事、他にも在宅ワーク中心。煮詰まりがちな毎日でこの日は広場の遊具などや周辺の木々、住宅街周辺の空気に癒されていた。

広場にいると、目の前の工場がいくつか並んでいる区域に意識がいった。

コンクリートで繋がっているベンチ椅子の端に座っている。

鉄棒をそっと手で触ると気持ちがニュートラルになるような気がした。

忙しい日々の合間に過去をなぞって、

どこの部分を拾ってピックアップ、過去や空間軸、繋ぎ合わせなど。

同時に息抜きにいろいろなことを調べてみたり。

ディスプレイとちょっぴり痛いような
過去。

ランニングはこの日いつもより少し長
い時間。ウェアの横辺りに少し汗が滲ん
でいる。

曖昧さの中にある現実的なこと。

数人がその広場に人がいたような気がするが、平日、いつもと同じランニングでも工場はいつものように稼働している。

ふとスウェットの模様を確認した。

少しふくらはぎの辺りをまくり上げる。

夜が少し待ち遠しくなる。

駐車場にはたくさんの車が停車しており広場にも人が増えていく。

(体験版は以上になります。ご読了ありがとうございました)